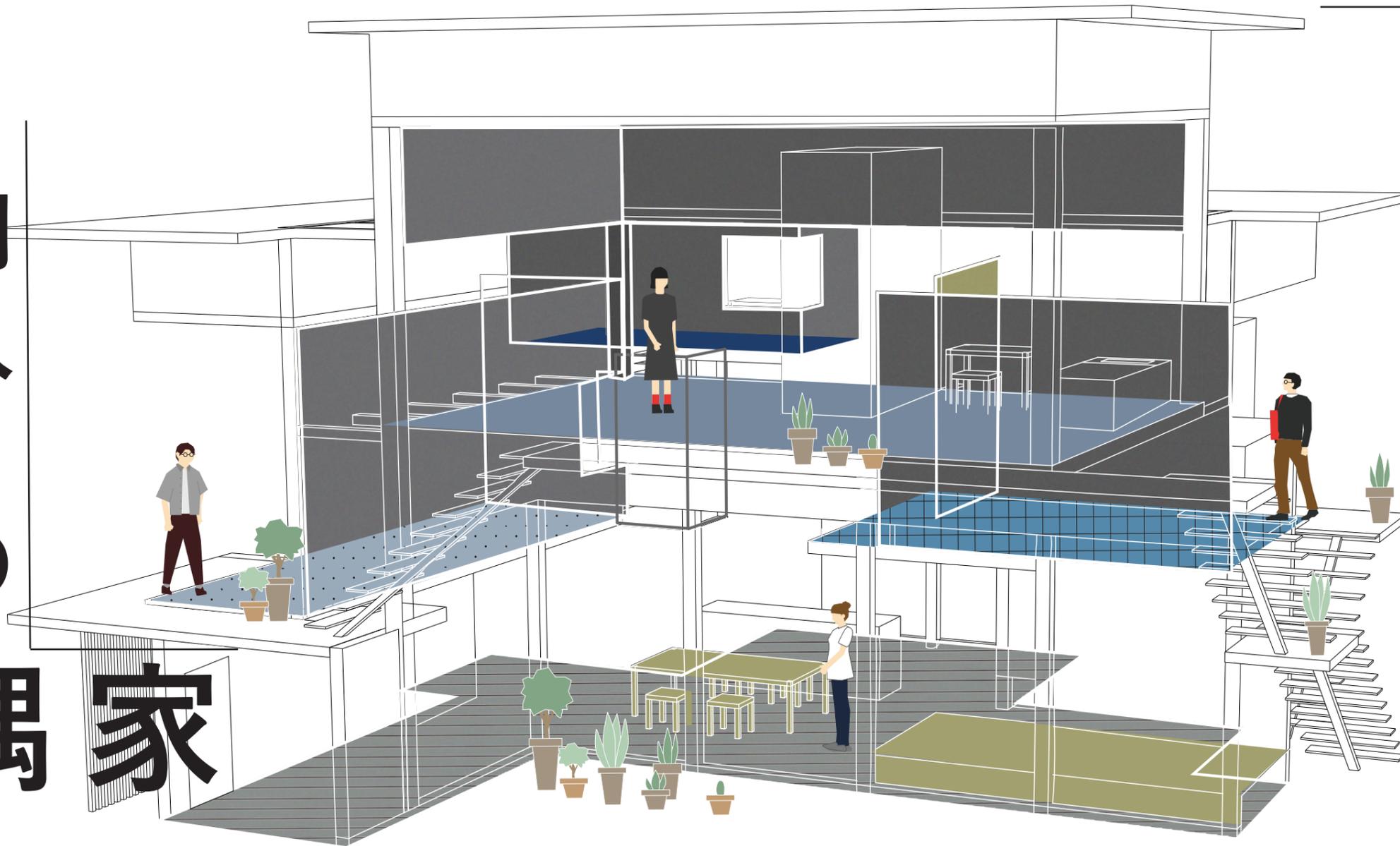


# 内省の隅家



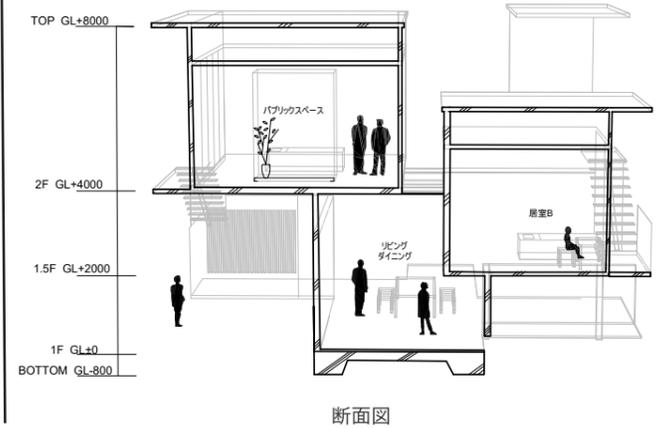
## 1 サイレント・コミュニケーション

顔と顔を合わせて、話す事だけがコミュニケーションではない。「人と話すのは苦手だが、1人は寂しいので人の気配は感じていたい。」そんな人たちが集まって住む、集合住宅を提案する。



## 2 階高の差を生かした繋がり

1F, 1.5F, 2F を設けることで居室同士の繋がりを創出する。

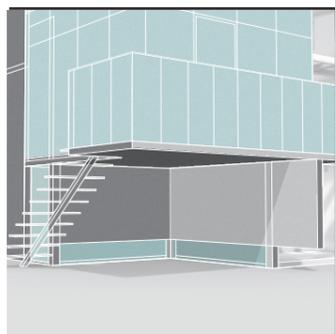


## 3 外を受け入れる外隅

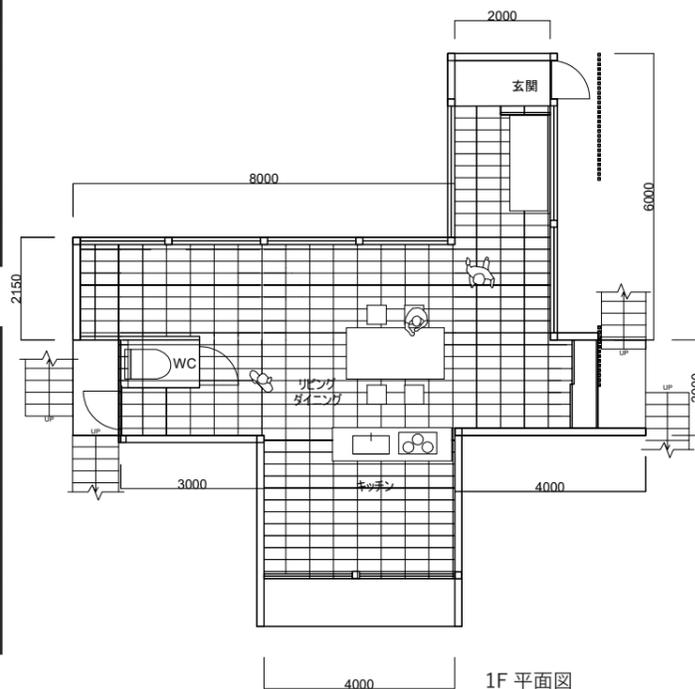
外部の環境を取り込むため1Fは多様な入隅を用いた。中と外は壁やガラスを隔てて、人と人がお互いを認識することが出来る。外部の人とのサイレント・コミュニケーションを促す。



中の活動が見える開放的な外隅



足のふるまいが見える外隅



中に入れる外隅



凸凹の外隅

## 4 静かに重なる内隅

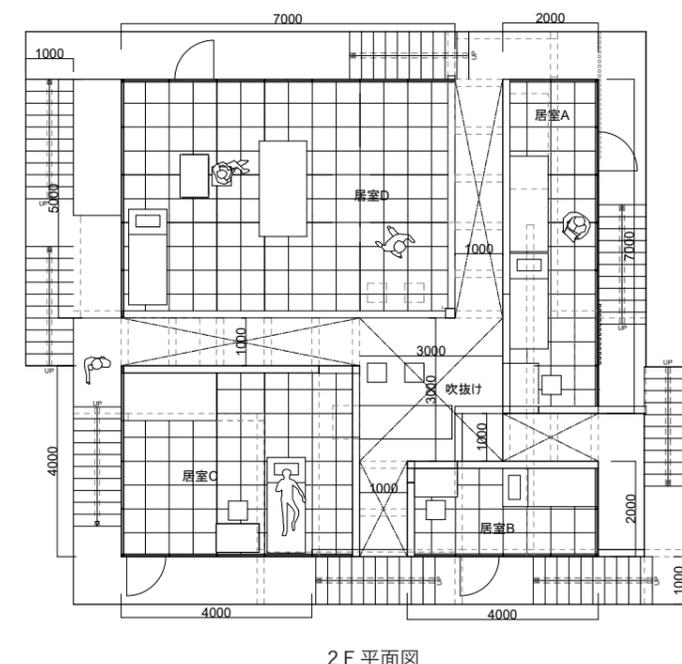
4つの居室の隅が集まった空間の中心で、静かにコミュニケーションが行われている。サイレント・コミュニケーションを邪魔しないように、動線はすべて外に出している。



「対角線上の住人さんはいるのかな。」



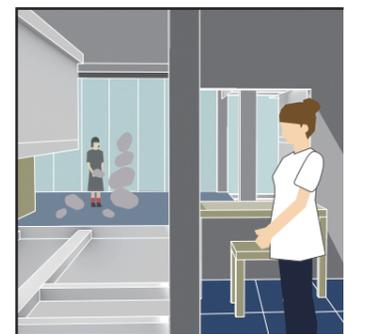
「今日はみんないるみたい。」



2F 平面図



「隣の住人さんが帰ってきたみたい。」



「お向かいのアーティストが製作中だ。」